

都島だより

発行責任者

西村 功

〒241-0002
横浜市旭区上白根2-35-5
TEL 045-953-4726



(社)浪速工業会
関東支部会報

2010年(平成22年)5月 第41号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056
横浜市港南区野庭町696-6
TEL045-841-8885
E-mail nanium@c3-net.ne.jp

題字デザイン 岡田宏三

NEWS 41号

関東支部・現在会員数 ◆ 合計509名

◆M・機械106、ME・機械電気18名◆A・建築93名◆E・電気・電子工学165名◆C・土木・都市工学47名◆C I・工業化学・理数50名◆L・普通12名◆工専18名

平成二十二年度
関東浪速工業会会長ご挨拶



M36

西村 功

あでやかな桜の花が新芽に代わり、さわやかな新緑の季節になってまいりました。浪速工業会関東支部の皆様には、益々のご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は本会の運営に当たり何かとご協力ならびにご支援を賜りまして厚くお礼を申し上げます。この度1月の総会におきまして会長の役務を仰せつかることになりました。私は5年前の一泊懇親会に伊香保温泉に興味を持ち参加したのが当会の行事への参加のスタートであり、その折、科や年代に関係なく皆さんが和やかに談笑されているのに接し、会社や地域社会の集まりとは異なる自由闊達な気風に魅せられ、以降の行事、幹事に顔を出すようになった次第です。長い歴史を持つ当会の運営に携わるには未だ日が浅い若輩者ですが、この1年微力ながら会員の皆様と幹事の方々のご支援とご協力を得ながらお役目を遂行していきたくと考えておりますので宜しくお願ひ申し上げます。会員の皆様方の在学中或いは社会人となって得た知識や情報は、各人の今日までの歩みによってそれぞれ趣の異なった貴重な財産であります。本会はそれをお互いに情報交換することによって会員相互の親睦を図ると共に自分の知識の輪を広げるチャンスを提供できる集まりであるとと考えております。従って、そのような機会は、皆様の趣味や好みと並行して得

られるのが最も集まり易いと考えますので、極力その趣旨に沿った行事・企画が必要となつてまいります。従来もそのような主旨で年間行事が企画され、会員の皆様にご参加頂いております。本年度も1月の総会でご報告の通りゴルフコンペ、見学会、陶芸会、一泊懇親会、落語会などの行事(別項ご参照)が予定されております。以上の行事の他に、6月と11月にMニュース41号と42号を発行し、行事予定の詳細と結果の報告、会員からのご投稿による情報の交換の場にするにしております。これらの行事内容と運営やMニュースの内容につきましては、皆様の闊達なご意見と参加により成り立っておりますので、ご提案をお寄せ頂ければ幸甚であります。なお、これらの行事については各料で構成される幹事会で決定し都度Mニュースなどを通じてご案内しますが、本誌に同封されております行事への参加ご意向のアンケートを参考に、より多数の方が参加できるように具体的に決定する所存でありますので、ぜひご返信のほど宜しくお願ひ申し上げます。また、幹事会につきましてもより多くの方に参画頂けるよう門戸を広く考えておりますのでご協力をお願いします。政権が代わり何かと騒々しいご時世ですが、この浪速工業会関東支部はそのような騒音に煩わされることなく、今まで諸先輩方が築き上げられた歴史と伝統を大切に「親睦と知識情報」の共有の場として運営していきたくと考えておりますので、ご支援とご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。最後にになりましたが、皆様にはご家族共々健康で明るい年となりますよう祈念しましてご挨拶とさせていただきます。

★平成22年度
関東浪速工業会役員

会長	M36	西村 功
副会長	A37	森 芳信
会計監査	A28	酒井 保

★平成22年度 行事予定

4月	春季ゴルフコンペ
6月	Mニュース41号発行
7月	見学会
9月	青葉会催し
10月	陶芸会、桂米左独演会
10月	秋季ゴルフコンペ
11月	一泊懇親会
11月	Mニュース42号発行
H23年1月	総会

○各料の代表幹事氏名

機械	M42	前田 範行
機械電気	ME40	松本 良治
建築・普通	A57	信原 利行
電気・電子工学	E36	馬江 治喜
土木・都市工学	C33	松本 信行
工業化学・理数	CI40	菅家 亘通

関東浪速工業会の平成21年度総会が平成22年1月22日に西新宿・住友ビル47階にある住友クラブにて18時より開催されました。浪速工業会本部より溝手理事長、栗根学校長をお迎えし、参加者は来賓の方々を含め44名でした。明見前会長の挨拶に始まり、事務局・馬江氏より前年度行事報告と今年度行事予定、会計報告がなされ、次期会長等の役員選出を行いました。その後、来賓のご挨拶を頂いた後、全員が一旦ロビーに移動、集合と各料別写真撮影をしている間に、食事会場の設営が出来、西村新会長の開会の辞と最年長者のM14松原氏による乾杯にて懇親会がスタートしました。飲み物と食事を戴きながら歓談が続く、懇親会の中盤には初参加者のスピーチと抽選会で盛り上がりました。ちなみに今回の1等の景品は陶芸家のA46柚木寿雄氏の作品でした。楽しい時間はあっという間に過ぎ、森新副会長の閉会の辞をもって20時30分終了となりました。左記に新役員と行事予定及び各料の代表幹事氏名を掲載します。

関東浪速工業会
平成21年度総会報告

A57 信原 利行



剣道の思い出

C18 秋月 勝美



※前号からの続き



当時個々の対校試合は禁じられて居ましたが、地域の団体戦には先輩達が出場され、好成績の証である賞状が数多く道場に展示されていきました。私達も地区大会に都工剣道部として出場、E中村君を大将としてM福住君、C秋月他2人位(記憶無し)で試合をしたが一回戦で(対戦相手も記憶無し)惨敗した記憶があります。段位昇進試験は、全国の府道県にある武徳殿で毎年1回行はれ、大阪は天王寺にあった。当時、修業年数5年の中等学校では(都工は全国に1校しかない6年制)2段までしか昇進出来ず、現在とは大分差が有るようです。私の段位は1級から始まりました。1級を取得した時の思い出をしましょう。

当時武徳殿で、毎年夏季講習会が15日間開催され、皆勤した場合は最終日に勝ち抜き試合があつて、3人を勝ち抜けば初段を取得できる制度が有りました。私も其れに挑戦し、勝ち抜き試合で2人迄順調に勝ち進んだが、3人目は何と女剣士だつた。試合の順番待ちの時から面を付けていたので、変な奴だと思つて居ましたが、いざ立ち会つてみると黄色い気合と掛け声ですが、太刀さばきもよく「もたもた」している内に、引き分けに終つてしまつた。後日級友達に其の話をしたところ、彼ら曰く「相手が女やつたら、組み討ちをやつたらよかつたんや。組討は男が上と決つてるから、勝名乗りを上げられたのになあ」と野次られました。数日後審査の結果を見に行つたが、女剣士は初段、私は1級取得で、こんな不公平な判定に頭に来たが、それなりの理由が有つたのだらうと、あきらめたのだが。後日聞いた話によると、彼女の父親

剣道7段で武徳会の役員をしているので、心を付けたのでは、という事でした。女剣士と試合したのは一生のうちこれが最初で最後となりました。若かりし頃の思い出の一つです。現在はこのような女性相手の試合は有るのでしょうか。

私の初段は大阪で取得、2段は審査の厳しい京都を選び取得しました。(当時の免許状の認定者名は内閣総理大臣東条英機と記憶)在学中は軟派の部類だったので、剣道部に在籍していたせいか休日の外出には常に和服を愛用し格好のよい姿で「心ブラ」をしたものです。その成果は、述べれば長くなるので割愛させて頂きます。

卒業試験の科目の中で設計、製図の項目があつたので、道頓堀川の戎橋(阪神タイガース優勝時の飛び込みで有名)を選択をしたが、製図の提出期限に間に合わず、未完成のまま提出したので卒業選考会で問題になつたが、剣道の松本先生の助言が有り、卒業する事が出来ました。やはり剣道部に在籍していたお陰だと思つた次第です。(この裏話は担任の先生より聞かされ、よくお礼を言つておけると言はれました)。

卒業後、大阪府庁土木部に就職しましたが、太平洋戦争と終戦の混乱期があり、又戦後はG・H・Q(占領軍)より、人切り剣道の国技は必要無しと、武徳会の解散を命じられ剣道の練習は禁止となつたので、竹刀すら握る事が出来なかつた。その後約10年位経過して解除になり、再開されたと言及んでいましたが、卒業後から現在まで、残念ながら練習の機会に恵まれなかつた。戦時中陸軍に徴兵され、小倉の砲兵隊に配属され終戦となり全員武装解除を命じられました。我々一兵卒は、官給品の小銃と短剣ぐらいで、問題はなかつたが、将校からは軍刀(日本刀で、鞘の部分には皮のケースに収めたもの)を吊るのが軍装だつたが、彼らの軍刀は殆んど私物だつたので、そのまま廃棄処分するのは悔しいか

ら色々試し切りをして、暇をつぶしていた。私の上官である若い将校もその仲間の一人であつたが、彼に呼び出され「俺の軍刀の切れ味を試しているんだが巧く切れん、お前は剣道2段だから、上手に切れるだらうから切つて見せろ」と言はれ、真剣で物を切るのは初めてだが、挑戦する事にした。相手は竹藪の中の大小の竹で、ある程度の太さ迄次々に切つて見せたので、将校に「さすが2段だけあつて俺よりは巧い」と褒められた記憶がある。此れも在学中に、居合の稽古をした成果でしょう。これが私が剣を握つた最後となつてしまつた。

戦後、建設省(現国土交通省)の外郭団体である、財団法人建設技術研究所に入所し、戦後の電力不足解消の為に水力発電のダム、トンネル、発電所の調査、設計、現場管理の仕事で全国を転々と移動してまいりましたので、都工剣友会から総会、稽古等の案内を戴き乍ら出席出来ませんでした。昭和45年頃管理職になり、やつと腰が落ち着き二度位親睦会(梅田鉄道局裏の小料理屋)に出席させて戴いた憶えがあります。丁度その頃、M18卒三好先輩から、剣道の菊池先生の還暦のお祝いをするので出席しないかと誘ひを受け、会場の梅田阪急会館に参上、先生を始め皆様のお元氣な姿を拝見致しました。その席上「先輩、私を覚えてまつか、道場でよく叩かれま張つてましたなあ」と声を掛けられました。彼は俳優であることは知つていましたが、在学当時先輩達の事は良く覚えて居るのですが、後輩の部員は人数が多いせいか、特に年次の離れている方々は、覚えて居らず、彼には悪かつたが、その一人でした。その後住居が同県であることから、親交を深め、彼のお芝居を色々見せて戴き、終演後有楽町のガード下の居酒屋等で昔話に花を咲かしたものです。現在も関東浪速工業会(浪速工業会関東支部)の年行事として、観劇会を催し、応援と

激励をしています。個人的には「金龍ゴルフコンペ」にも参加しましたし、相撲界では立浪部屋の千秋楽打ち上げ会に同席した覚えが有ります。何時までも元気で舞台に立つて戴きたいと思つている一人です。関東浪速工業会の会員の中に、剣道部に在籍されたE12卒故上畑先輩、E14卒故島先輩が会長、幹事として居りましたが、私も幹事の一員でしたので幹事会、総会、親睦会等に同席させて戴く機会も多く、在学時代の剣道の思い出話をしたものです。剣道を教えて戴いた先生方、剣道部の先輩達、そして稽古に励んだ仲間達も次々と他界され、本当に淋しくなりました。最後にこの紙面をお借りして故人の冥福をお祈り致します。

合掌 2004/7 記

★追記

この物語は、故金田龍之介氏が、都工抄冊子を作成する計画で、テレビ朝日の「徹子の部屋」の放映で卒業生宛原稿の募集を御願ひされ投稿したものです。又故人自身もOJB各位に御願ひされましたが、原稿の集まりが少なく、纏め終らずに他界されました。投稿された方々に故人に変わりお詫び申し上げます。





お伊勢参り

A16 多喜 久



私が都工に入学したころは中学校、商業、工業或るいは女学校、女子商業等は全部五年でしたが、都工だけが全国で唯一の六年生でした。私は十一年に建築科に入学し、十六年四月六年生に進級、十七年三月に卒業予定でしたが、その頃、日本中の成年男子の殆どが、中国大陸や南方戦線で軍人として戦場に出ておられたので、急速文部省からの通達で卒業を三ヶ月繰り上げ、十六年十二月に卒業することになり、同時に実業学校進学制限令が出て、高等工業や高等商業等に進学するのは卒業生の一割以内に制限され、それ以外は全員就職するようになりました。全国の学校では身体と精神を鍛える為、前号で秋月さんも書かれていますように柔道か剣道が正規の授業として、一年生から六年生までどちらかを毎週一時間は受け、軍事教練は週二回、軍服を着た教官の授業があり、陸軍から払い下げの歩兵銃を使って訓練を受け、戦場に出てすぐに役に立つよう教育されていました。そんな軍国主義の時代だったので、私が四年生の昭和十四年、突然校長先生から十月一日に全校生徒は歩いて神社参拝をすることに決まると発表され、低学年は、そう遠くない神社に、私たち四年生は榎原神宮まで、約四十kmを行軍しました。寺田町を一日の八時頃出発し、宵闇迫る頃目的地に到着、榎原神宮に参拝して電車で大阪に帰ってきました。

翌十五年、五年生では奈良県の吉野神宮まで約六十kmを一泊二日で行くことになり、九月三十日大阪を出発、途中壺坂寺近くの壺坂国民学校(当時は小学校の

事をこう呼んでいました)に宿泊し、十月一日吉野神宮に到着、戦勝祈念の参拝をして電車で帰ってきました。

いよいよ六年生になり、卒業旅行は伊勢神宮まで約百六十kmを行軍することになり、九月二十八日寺田町を出発し、その日は奈良県に有る牡丹で有名な長谷寺の近くの初瀬国民学校に宿泊、二十九日は三重県の奥津国民学校に泊まり、翌三十日夜伊勢市に到着、国民学校で泊まり、十月一日伊勢神宮の外宮と内宮(皇大神宮)に参拝しました。その時、天があたかも我等を試し賜うかのように連日の雨、されど一同の意気は軒昂で、共に励まし助け合い、雨中の神宮の前に額ずいて戦勝を祈りました。何とか歩き通せた嬉し涙と雨の露が額を濡らし、その後五十鈴川に架かる橋の前で集合写真を撮りました。今も卒業アルバムに残っていますが、二百人ほどの中で自分が何処に居るやら、誰が誰だか分からない程疲れきった顔をして写っています。落伍者もなく全員が宇治山田駅から電車に乗り無事大阪に帰り着きました。この行軍の時、平素身体の具合が悪く体操や教練を見学している級友達が、引率の先生と共に、沢山の大きな荷物を担いで電車やバスで宿泊地へ行き、夕食の支度をし、講堂に毛布を敷いて寝る準備をして、私達が疲れて到着すると、すぐ暖かい食事が食べられ、ぐっすり眠れるようにしておいてくれ、翌朝も暖かい朝食をすますと、昼食の弁当も出来ていて、出発した後の片付けもしてくる等、裏方としての陰の協力が有ったから、無事参拝できたのです。二度と味わえない貴重な体験が出来、自信が着いた事を今でも感謝しています。



月余りの後の十二月八日に天皇陛下から「朕は米國および英國に對し戦いを宣する」旨の、所謂宣戦布告の詔書が出され、その何時間か前に我が海軍の航空母艦から発進した艦載機と二人乗りの特殊潜航艇により、ハワイの真珠湾に停泊中のアメリカ太平洋艦隊の戦艦や航空母艦を攻撃し大きな戦果が上がった事が発表され、この日が大東亜戦争(太平洋戦争)の開戦日となりました。私にとつては卒業と伊勢神宮参拝行軍と開戦記念日のある昭和十六年十二月は生涯忘れられることは有りません。

箱根の湯でのんびり懇親会

一泊懇親会報告 M36 西村 功

全山紅葉には少し早い、山逢いのあるところどころが色付きかけた11月8日、9日箱根湯本で一泊懇親会を開催しました。仙台から来られた方、この種行事に初めて参加頂いた方、横浜のご自宅から愛用の自転車で力走して駆けつけてこられた方を含め10名の参加者が箱根湯本ホテルに会いました。まず、箱根湯本駅に集合した6名で戦国時代の名将北条早雲の菩提寺である早雲寺を訪れ当時の歴史の一端をしのび、ホテルで4名と合流後温泉につかりながらよもやま話して旧知を温め、少人数ながら宴会の席ではお酒を酌み交わしながら各々の近況を紹介した後、学生時代の話から社会人での経験談、はたまた世相に至るまで実に幅広い話題で和やかに宴会は終了し、更に1室で夜が更けるのを忘れるほど懇親会が続いたのであります。翌日は7名で近くの天山湯治郷に行き、まだ飽き足らずに興味の異なる5つの露天風呂と窯風呂を味わい、心ゆくまで箱根の湯を楽しむのんびりした集いに堪能して解散しました。

本懇親会は今までゴルフコンペに参加する人達との協賛で行っておりましたが、今回から一泊懇親会として単独で企画したものであり、参加者が集まるか危惧されましたが宴会が開ける人数の出席を得、和やかな会を開催することができました。今後とも、近場でのこのような催しを企画し、今までご参加いただけなかった方にも参加頂き懇親の輪を広げられるよう計画出来ればと考えるます。



一泊懇親会・箱根湯本ホテルにて

ピースボート旅行記

CI39 馬場 義甫

乗船募集は何か月も前からあり、早期に申し込みをして代金を支払うと割引や船内で利用できるサービス券等が貰える特典がある。寄港地については予めピースボートより、寄港地プログラムが送られてくる。それには現地の観光案内や治安状況の他に、ピースボートが企画した有料のオプションツアーが紹介されている。参加者は各寄港地プログラムを参考にして、希望するコースを予め申し込んでおく。勿論、オプションツアーを取らず自由行動も選択できる。私は治安状況を参考に、比較的治安が良いところは自由行動にし、治安が悪いところはオプションツアーを申し込んだ。船旅の事務手続き代金支払いを終えて、米國に寄港するための事前申告EASTをインターネットで登録し、出港まで一カ月を切った頃ピース



4面に続く

3面より

ボートから、出港が20日程延期される知らせが届いた。それによると、船旅に予定していた客船「クリッパ・パシフィック号」2万3千トンがドックでの修理が長引くことで、急遽「オセアニック号」に変更されることになった。約3万9千トン、全長240m、乗客定員1550人で、パシフィック号より一回り大きくなった。ヨーロッパと米国を結ぶオーシャンライナーとしてイタリアで建造され、カリブ海クルーズや地中海クルーズとして活躍していたが、建造から幾多の年月が過ぎて、退役寸前に再び大原に航海することになった。この退役間近のロートル船が長い航海中に幾つかのハプニングを起こすことになる。ハプニングにより多くの人が思わぬプレザントを貰ったり、スケジュールの変更を余議なくされたり、又個人のみのことになり失敗を奇跡的に解決してくることになるのである。船の変更に伴い出港が20日程遅れることにより、乗船申込者の200名ほどの方がスケジュールを調整出来ず、結局キャンセルされたと後で知った。200名ほど参加者が少なくなり、船内に余裕ができて乗客としては良かったのかもしれない。結局横浜の大棧橋出航は当初より15日遅れの4月23日に変更になった。3か月余りの船上生活の必需品をピースボートの資料を参考に、夏冬の衣類をどの程度持つていくか悩みながら、スーツケースと段ボール2個にパッケージして、宅配便にてピースボート宛てに送り当日を待った。

★出港

いよいよ出港の日が来た。宅配便で送れなかったものをリックに詰め、横浜に向かう直通電車が人身事故の影響のため新橋で停車してしまった。他の路線に乗



り換えるためにホームに降り立つと、同様な人達でホームと階段は溢れており、船の出航時間を気にしつつ電車を待つ。大棧橋に着くと出国手続きのために、長蛇の列が出来ており自分の並ぶ列を確認し順番を待つ。手続きを終えて乗船すると、黒人の女性クルーがキャビン(船室)まで案内してくれる。エレベーターで上がり、細く長い廊下を歩き、コナーを曲がり漸く辿り着いたのは、7階C・106号室。今日から下船するまでの生活をする相部屋3人のマイホームとなる。部屋に入ると宅配便で送った荷物が届いており、ルームメート二人も既に到着しており荷物の整理をしていた。出港セレモニーがあるので、挨拶もそこそこ最上階のデッキにでてみる。岸壁で見送る人の多さにビックリさせられる。船が用意したテープを見送る人に投げけるが、半分ほどは届かず海に落ちてしまう。それでも無数のテープが結ばれて、暫しの別れを惜しむようにドラが鳴り、いよいよ最初の寄港地中国のアモイを目指し出航、何となく胸が熱くなるのを感じる。【次号に続く】



秋のゴルフコンペは好天に恵まれ、9名の参加を得て、平成21年11月27日に紫CC(あやめコース)にて開催しました。今回は平成16年以降の優勝者による取り切り戦とのダブルコンペとなりましたが、実力第一人者のC33明見氏が総合優勝と取り切り戦も制しました。

ゴルフコンペ報告



E36 竹村 繁幸



秋のゴルフコンペは好天に恵まれ、9名の参加を得て、平成21年11月27日に紫CC(あやめコース)にて開催しました。今回は平成16年以降の優勝者による取り切り戦とのダブルコンペとなりましたが、実力第一人者のC33明見氏が総合優勝と取り切り戦も制しました。

春



春のゴルフコンペは平成22年4月22日にE20真鍋氏がメンバーである寄居カントリークラブにて開催されました。前日の好天とは一転した冷たい雨の中、初参加のE35芳仲氏を含む9名でのラウンドとなりました。今回はHCを見直しをするため新ペリア式にて実施しました。優勝はE36笹治氏でした。おめでとございます。



桂米左独演会のお知らせ

事務局より



2010年10月31日 浅草見番

上方落語会で活躍中の桂米左(A59木村 佳氏)恒例の東京独演会の日程について連絡が入りました。会費等は未定ですが、ご興味のある方は、事務局までお問い合わせください。お問い合わせをいただいた方には決定後に詳細案内をさせていただきます。

開催日 平成22年10月31日(日) 14時開演
開催場所 浅草見番(台東区浅草3-33-5)
費用 未定
お問い合わせは 事務局・馬江まで 科、卒年、氏名、参加予定人数を電話、FAX又はEメールにてお問い合わせ下さい。
TEL・FAX 045-841-8885
Eメール naniun@c3-net.ne.jp

青 藝 会

関東青藝会催しへのお誘い

A37 森 芳信

関東青藝会の本年の催しは大谷石採掘場の『大谷資料館・超巨大地下空間の体験』と恒例の『陶芸会』の二本立て企画しました。陶芸会は例年通り陶芸家A46卒 柚木 寿雄氏の工房にて開催します。両企画とも他科の皆さんの参加も大歓迎です。



- ①『大谷資料館・超巨大地下空間の体験』
開催日時 9月4日(土) 13時より19時00分
内容 宇都宮駅で集合し大谷資料館・大谷石採掘場跡を見学後、懇親会は宇都宮餃子でカンパイ、現地解散。
会費 交通費、入館料(600円)、懇親会費各自負担
- ②『陶芸会』
開催日時 10月2日(土) 13時より17時30分
終了後、国立駅周辺にて懇親会開催
開催場所 国立市『国立自由工房』
会費 7,000円(懇親会費含む)
定員 二十一名(定員になり次第締切)
★申込 7月31日(月) 申込締切
申込方法 催し名・卒科・年・氏名をFAX又はEメールにてA37森 芳信まで
FAX 04-7184-8413
Eメール 3tree-yoshi@jcom.home.ne.jp
(集会所等詳細は申し込み後案内します)

計報

E9年卒	田辺 一夫氏	平成20年2月6日
E11年卒	澤田 勇氏	平成21年8月27日
M17年卒	林 壽氏	平成21年11月17日
E20年卒	堀 清也氏	平成21年5月7日
M20年卒	村野 昭司氏	平成21年9月28日
C24年卒	土谷 覚氏	平成21年4月17日
A28年卒	森田 幸博氏	平成21年10月6日
CI36年卒	田中 良一氏	平成21年1月6日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次号のMニュースは平成22年11月発行予定です。

皆様の原稿をお待ちしています!

年間行事予定表

関東浪速工業会・会員各位

2010年5月28日(月)

事務局 馬江 治喜 (電気科36年卒業)
横浜市港南区野庭町 696-6
TEL・FAX 045-841-8885
携帯電話 090-9309-2734
E-mail nanium@c3-net.ne.jp

いつも関東浪速工業会にご協力いただき有難うございます。

さて今回 M ニュース 41 号に記載すべきことなのですが、原稿締切及び紙面の関係により、当会の年間行事を下記にご連絡させていただきますので、ご理解の上ご参加の程宜しくお願い申し上げます。

記

見学会(8月5日現在実施済みです)

見学場所 ; 東京電力 川崎発電所

(最新鋭の世界最高効率のガスタービンコンバインド発電所です。)

集合日時 ; 7月9日(金) 14時00分厳守

集合場所 ; JR 川崎駅・改札口前・(コンコース) 時計塔、下

その他 ; 交通費・飲食は各自持ち

見学終了後川崎駅の近辺で懇親会を開催予定です。(自由参加)

申込締切 ; 6月25日(金)迄 事務局へ(連絡先は当紙面右上をご参照)

一泊懇親会

行き先 ; 伊豆伊東温泉:伊豆高原クラブ(抽選結果により代替りのホテルの場合あり)

開催日 ; 11月14日(日)~15日(月)

集合場所 ; 伊豆急鉄道・伊豆高原駅・改札口(送迎バス利用、約10分)

費用 ; ¥12,000円程度 (交通費は各自負担:朝夕食事、アルコール付き)

申込締切 ; 8月20日(金)迄 事務局へ(連絡先は当紙面右上をご参照)

詳細は別途参加ご希望の方に連絡します。

秋季ゴルフコンペ

開催場所 ; 軽井沢近辺 (C20 卒木村又鳳さんの紹介の場所)

開催予定日 ; 2010年10月中旬で1泊2日の予定

詳細は後日、竹村幹事よりゴルフメンバー登録者へ連絡予定です。

なお上記登録者以外でゴルフ開催詳細連絡希望者は事務局へ早急にご連絡ください。

総会

開催場所 ; 東京・新宿住友ビル:47階 住友倶楽部

開催日時 ; 2011年1月21日(金) 18時00分より

その他 ; 会費その他詳細のご案内は今年12月初めに発行予定の M ニュース 42 号に記載いたします。

以上今年の年間行事予定をご連絡いたしますが、是非とも多数のご参加を心よりお待ち申し上げます。
又その他ご希望等がございましたらご面倒でも事務局へご連絡いただきたく思います。 以上